

報道関係者各位

高齢者介護施設における感染性胃腸炎の集団発生について

平成26年12月30日(火)、中北保健所管内の高齢者介護施設において胃腸炎症状を有する者の複数発生の連絡を受け調査、指導を行いました。その概要は次のとおりです。

【調査状況】

施設の種別 高齢者介護施設

発症者の状況 利用者 20名 (60歳代~100歳代男女)
職員 2名 (50歳代男性)
計 22名

主な症状:嘔吐、下痢

発症状況

	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14	12/15	12/16~ 12/21
利用者	1	1	1	2	0	0	0	1	0
職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	計
利用者	1	1	0	3	3	1	3	1	1	0	20
職員	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2

(発症者は全員快方に向かっております)
調理従事者

調査・指導結果

発症者6名(利用者5名、調理従事者1名)、調理従事者11名(非発症者)の検便を実施したところ、発症者6名からノロウイルスが検出された。

中北保健所では、検便結果及び発生状況から、食中毒ではなく施設内でのノロウイルスによる集団感染と判断し、2次感染予防の指導を実施した。

【指導内容】

手洗いの徹底、施設内の消毒、利用者・職員の健康管理等の感染拡大防止指導

なお、この情報提供は県民への感染性胃腸炎の予防に関する啓発のために行うものです。

本日の報道対応は20時00分までとさせていただきます。